

葛	野
の	鐘

*Kadono - no - Kane*

vol.23  
2016.APRIL

京都光華女子大学図書館報

---

館長からのメッセージ

---

わたしと図書館

---

わたしのすすめる1冊

---

図書館の風景

---

わたしと図書館(旅立ち編)

---

フェア展示

---

貸出ランキング

---





## 「ちょっと図書館散策」

寺田寅彦のエッセイに「漫画と科学」というものがあります。私は、漫画ファンである物理屋のはしくれとして、日本の物理学の草分けである寺田がこのようなエッセイを書いていたことを知って大いに喜んだものです（もっともここでいう漫画は現在主流のストーリー漫画ではなく、いわゆる一コマ漫画ですが）。寺田はこのエッセイの中で、漫画と科学は似ている、どちらもものごとを忠実に描くのではなく、ものごとの枝葉をそぎ落とし、ものごとの奥にある本質的で普遍的な法則性を描き出すものだとしています。そして、その描写は現実そのものよりも現実の真を描き出しているといいます。確かに、漫画はデフォルメを使うからこそ対象の本質を描き出すし、重い物体も軽い物体も同時に落ちるといった法則は、現実にはほとんど目にしないにもかかわらず真です。

考えてみると、この考えは漫画や科学だけではなく、本そのものにもあてはまりそうです。というのも、本というのは、それぞれの著者が各自の枝葉を刈り取る道具と本質をえぐり出す道具をもとに、世界を切り取り描いたものだといえるからです。そして図書館は、そのような本が集積したところ。だとすると、図書館は世界そのものよりも世界の真が詰まっている場所だといえそうです。

一方で別の見方もあります。そもそも本はどんな言葉で書かれていても、有限個の記号の有限個の組み合わせであることに変わりがありません。したがって本来的にデジタルです。はたして、そのような本（あるいは本に代表される人間の知）に、本来的にアナログである（と思われる）この世界を記述できるのか、これは、古くから哲学、宗教、そして科学が問題にしてきたことでもあります。たとえば、古くは、荘子の、渾沌に穴をあけると渾沌が死んでしまったという寓話（実在世界を人間の知の体系で切り取ることの不可能性を寓意しているとも言われています）は有名です。

私たちは、勉強するとき「これは何の役に立つのか？」を問います。確かにこの問いは大切です。しかし、この問いを少しだけわきに置いて、果たして図書館は世界そのものかという、役に立つかどうかとは無縁な問いを心に、ちょっと図書館を散策してみるのも豊かな時間につながるかもしれません。

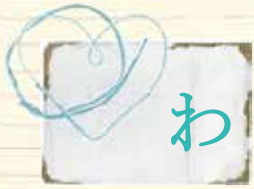


あいば ひろかず  
図書館長 相場 浩和  
短期大学部 ライフデザイン学科  
(原子核理論)

## 寄贈図書リスト

現・旧教職員ほか（平成 27 年 1 月～12 月受入 寄贈者の五十音順・敬称略）  
この他にも学外の方から多数の図書を御寄贈いただきました。改めて御礼申し上げます。

異端の看護教育：中西睦子が語る ほか	鮫島 輝美
コミュニティ心理学ハンドブック ほか	竹西 正典
やさしく学べる保育実践ポートフォリオ ほか	梅岡 さと江
子どもの場所から ほか	東 千世子
音楽あそび：障害児と共に育ち合う ほか	和田 幸子
言語と格差：差別・偏見と向き合う世界の言語的マイノリティ ほか	河原 俊昭
成人看護学概論・成人保健 第 5 版 ほか	堀井 たづ子
周産期ナーシング 第 2 版	玉里 八重子
憲法主義：条文には書かれていない本質	後藤 安子
創造のたね：ドローイングのはなし ほか	下口 美帆
社町史 ほか	野田 泰三
Our animal friends ほか	楠 香織



# わたしと図書館

## わたしと図書館

図書館と聞いたとき、みなさんは最初にどんなイメージが出てくるだろうか。私は未だに40年ほど前の図書館が最初に思い浮かぶ。その壁面は本で埋め尽くされ、図書カードを繰って蔵書の位置を確認し、広い館を彷徨って目的の書庫にたどり着き、重い本を借りて読む。そして、図書館内では絶対に静粛という特別な世界だった。

最近の図書館は、おしゃれな雰囲気のカフェで談笑したり、パソコンのスペースが大きく取られていたりして、入り口から中を見ただけでは「本はどこ？」という状態になってきている。海外の大学の図書館はもっと早くからそんな感じで、朝昼晩のどんなときも図書館が学生生活の中心的な位置づけになっている。学生にとっては、自分のデスク(=居場所)がそこにあるという

感じである。

こう考えると図書館の役割は、すでに図書館というよりは、情報収集と発信のための館となってきた。特別な世界というよりは、普段の自分の居場所となっている。図書館のあの辺りに行けば、きっとあの友達がいるに違いない、そう思って図書館に行く人もいるだろう。

これからは、「とりあえず図書館に集合！」が合言葉になるだろう。これは図書館としてもうれしいことなのではないだろうか。人も建物も、固定概念にとらわれず、柔軟な発想で発展していったほしいものである。今後も、学生生活のいろんな場面で図書館がみんなの拠り所として愛され続けられる存在であることを願っている。



もりがわ たかし  
森際 孝司

短期大学部 ライフデザイン学科  
(教育心理学)



わたなべ としゆき  
渡邊 俊之

健康科学部 医療福祉学科  
言語聴覚専攻  
(神経内科学、神経心理学)

言語聴覚士は失語症や認知機能障害、嚥下障害などを患う人々のリハビリテーションを担当する専門職です。失語症や認知機能障害を研究する分野は『高次脳機能障害学』という言語聴覚専攻の必修科目ですが、『神経心理学』とほぼ同義です。神経心理学を学ぶには感覚、知覚、学習、記憶、知能、思考、言語、感情、動機づけ、性格など、心理学の基礎的分野の知識が必須です。私自身もかつては心理学を専攻していた関係で、『認知・学習心理学』という心理学の基礎を扱う科目を担当しています。日本語で書かれた心理学入門書も多数ありますが、“Gleitman et al. Psychology 8th ed.”、“Myers. Psychology 10th ed.”、“Nolen-Hoeksema et al. Atkinson & Hilgard's Introduction to Psychology 15th ed.”など、比較的平易な英文でアメリカの大学生向けに書かれた入門書も大変面白い。全頁カラー印刷で、魅力的な写真や図表が満載されており、これらを眺めるだけでも随分楽しく現代心理学の基礎を鑑賞出来ると思います。心理学の基礎を垣間見て、これらの心理現象を支える脳の機能に興味を持ったなら、“Kandel et al. Principles of Neural Science 5th ed.”へどうぞ。いずれも図書館3階の洋書棚に配架してありますので、春休みにでも、ぜひ一見を。書棚の片隅に眠らせておくのはもったいない！

## 言語聴覚士と心理学関連図書

“Nolen-Hoeksema et al. Atkinson & Hilgard's Introduction to Psychology 15th ed.” など、比較的平易な英文でアメリカの大学生向けに書かれた入門書も大変面白い。全頁カラー印刷で、魅力的な写真や図表が満載されており、これらを眺めるだけでも随分楽しく現代心理学の基礎を鑑賞出来ると思います。心理学の基礎を垣間見て、これらの心理現象を支える脳の機能に興味を持ったなら、“Kandel et al. Principles of Neural Science 5th ed.”へどうぞ。いずれも図書館3階の洋書棚に配架してありますので、春休みにでも、ぜひ一見を。書棚の片隅に眠らせておくのはもったいない！

# BOOK

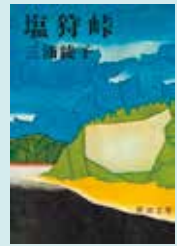
## わたしのすすめる1冊



### 「塩狩峠」

さめしま てるみ  
**鮫島 輝美**  
 健康科学部 看護学科  
 (理論看護学・グループ・ダイナミクス)

三浦綾子著  
 新潮文庫  
 1987年刊(改版)  
 2階文庫コーナー



この本との出会いは、本当に「不思議な」出会いでした。20歳の頃、バイト先の先輩が私に「この本読んだら人生、変わるで。」と貸してくれたのがこの「塩狩峠」だったのです。読み進めていく中で、私は主人公の永野信夫の生き様に圧倒され、そのことが本当の意味で、私の人生を大きく変えていく分水嶺となったからなのです。

この小説は、1909年2月に、北海道北部に位置する塩狩峠で実際に起こった鉄道事故を元にして書かれたものです。峠にさしかかった列車最後尾の客車の連結器が外れて暴走し、その客車を止めるために鉄道員であった主人公が身を投げ出し、客車の下敷きになることで、多くの乗客の命が救われたのです。当時の私には、自分の命を差し出して

までも人の命を助けるなど考えたこともなく、どう考えても、なぜそのような生き方／死に様子ができたのか、全く理解ができませんでした。それから、「私はどう生きるのか／どう生きたいのか」を考え始め、今もなお、考え続けているように思います。答えは簡単にはできませんが、「常にこれよいか」と自分に問いかける、そのような生き方をしたいと考えています。

大学生の頃の私は、感受性が人一倍強く、社会的でもなく、生きづらさを感じ、人間関係にもよく悩んでいました。そんな時出会ったのが、この「塩狩峠」でした。それから20年以上経った今でも、私の人生の根幹を変えてくれた一冊として、大切に思っている一冊です。



### 「不思議の国のアリス」

やまがた じゅんこ  
**山形 純子**  
 健康科学部 健康栄養学科 健康スポーツ栄養専攻  
 (給食経営管理)




ルイス・キャロル 原作  
 ロバート・サブダ さく  
 わくははじめ やく  
 大日本絵画 2004年刊  
 C書庫

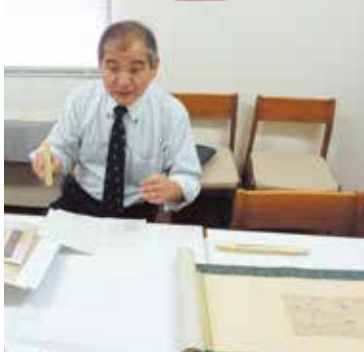
私が好きな本は、ロバート・サブダが仕掛け絵本にした「Alice's Adventures in Wonderland」(ルイス・キャロル)です。話の内容は、皆さんも知っている「不思議の国のアリス」です。では、何が楽しいのか？ それは、飛び出す絵本だからです！ ページを開いた時のあの衝撃は、きっと皆さんも一緒に、「わ—————！！」という声が出るはずですよ！

私が持っているものは英語版ですが、図書館には英語版と日本語版の両方が所蔵されています。英語版でもページを開くだけで楽しい♪♪ サブダの仕掛けは、ページを開くと仕掛けが飛び出すだけでなく、ページの端に

「のぼす のぞく(Pull me up and look inside.)」といった読者へのメッセージがあり、例えば、そこにある仕掛けを上へ伸ばして、中を覗いてみると、アリスが井戸に落ちて行く様子を見ているかのような錯覚を覚えます。私は仕掛け絵本を見ると、大抵の場合は仕掛け自体に興味湧き、どうやって飛び出すの？と仕掛けのほうを見てしまいます。でも、この本は違います。何回見ても仕掛けよりも次のページが気になり、ゆっくりと次のページを開いてしまいます。

図書館へ行って、一度ページを開いてみてください。そして、みなさんも驚きで声が出るような心に残る本に出会ってください。

 書館にはグループ学習ができるアクティブラーニングスペース、DVDを見ることができるAVルーム、そして勉強や話し合いなどに利用できるグループ閲覧室があります。アクティブラーニングスペースが出来る以前は、資料を使った授業といえばこのグループ閲覧室で行われていました。今回は、人文学部文学科で図書館所蔵の貴重書を利用した特別授業が企画され、その授業の様子を担当された朝比奈英夫先生にご寄稿いただきました。



藤田洋治先生

**講師**には山形大学教授の藤田洋治先生をお招きしました。藤田先生のご専門は平安時代の和歌文学で、とくに日本各地に所蔵されている古筆切(古写本の一部を切り取って軸装したもの)や古写本、板本の調査を長年にわたって進めてこられました。文献学、書誌学の分野で広汎な知識と経験をお持ちの専門家です。



## 図書館の風景 2016.2.16

**2**月16日に特別授業「特別授業(写本・古筆切入門)」が行われました。概要は次に掲げる案内文の通りです。

**本**学図書館には、貴重な古筆切(古典の一部を掛け軸用に切り取ったもの)が数点、所蔵されています。それらの貴重資料を使って、古写本や古筆切の基礎知識を学ぶ授業を実施します。講義形式ではなく、実物を使った分かりやすい実習形式なので、古典のゼミ生だけでなく、司書や学芸員の資格を取る人にもお勧めです。興味のある人は、ぜひ参加して下さい。和やかな雰囲気での授業を計画しています。

**今**回の特別授業では本学所蔵の古筆切や板本を使って、古筆切の特徴、料紙の見分け方、鑑定証明書である極札の形式、板本の形式や挿絵と本文の特徴などをわかりやすく丁寧に解説して下さいました。

また先生ご自身が所蔵している写本や板本中から特徴があるものを選んで持参され、さまざまな形態があることをユーモアを交えてわかりやすく説明して下さいました。受講生は文学科日文専攻の3、4回生6名で、春休み中にもかかわらず、熱心に藤田先生のお話を聞き入っていました。貴重な古筆切や写本を目の前にして、優美な書でしたためられた作品の美しさ、装幀の趣きに目を奪われて、古典の世界に対する興味をさらに深めていました。



当日、教材に使用した主な貴重書は、次の通りです

- 1 「角倉切(すみのくらぎれ)」 鎌倉時代 伝阿仏尼筆 後撰和歌集卷十「恋歌」の断簡
- 2 「因幡切(いなばぎれ)」 鎌倉時代 伝二条為氏筆 古今和歌集卷二「春歌下」の断簡
- 3 「古今和歌集切(こきんわかしゅうぎれ)」 鎌倉時代 伝九条良経筆。古今和歌集卷十「物名」の断簡
- 4 「新板繪入伊勢物語(しんぱんえいりいせものがたり)」 板本 江戸時代 元禄十三年刊
- 5 「山姥(やまんば)」 嵯峨本(光悦本) 江戸時代 慶長年間刊



# わたしと図書館

旅立ち編

## 「私にとっての図書館」

私は、レポートを書くために図書館を利用していましたが、私自身、司書の資格を取るための授業を取っていたので、司書の授業で利用することも多くありました。

レポートを書く時は、課題に関連する本を探しましたが、読みたい本が閲覧室にある時もあれば、ない時もありました。ない時は書庫や閲覧館にあることがほとんどで、1回生の頃は、司書の方に本の取りに行き方を聞く勇気がなく、「書庫とか閲覧館ってどうやって取りに行くんや！」と本の取りに行き方も分からず、閲覧室にある本だけで、レポートを書いていました。しかし、図書館ツアーに参加して、書庫や閲覧館などの本の取りに行き方を知った私は、まず、書庫の本を自分で取りに行きました。初めて1人で書庫に行く時はとても図書館利用している人って感じがして、わくわくしました。

司書の授業で利用した時は、実際に司書の方に司書の仕事内容や、貴重な文献についてなどを説明して頂いたりしました。その中でも一番、頭の中に残っていることが1つあります。その時の授業は、グループで1つのものを作らなければならないので、授業内で図書館を利用して、調べものをするのがこの日で最後という日でした。しかし、その日に限って、私のグループはかなり人数が少なく、私は焦っていました。そんな時、司書の方に「頑張ってください」と声をかけていただいたことはとてもよく覚えています。何から手を付けていこうかとあたふたしていたので、声をかけて頂いた時はとてもうれしかったです。

私の大学生活は、半分以上図書館で過ごしていたのではないかとと言っても過言ではないくらい、図書館にはとてもお世話になりました。本当にありがとうございました。



かさがき れい  
笠崎 玲

人文学部文学科 平成 27 年度卒業

## 「図書館と私」

入試、就職、そして図書館と様々な業務に携わり、本学を支えてくださった田村伸一さんが、平成 27 年度末で定年退職されます。図書館への様々な思いをつづっていただきました。

「図書館」とは、広辞苑で調べると「図書・記録その他を集め保管し、これを必要とする人に閲覧させる施設」とありますが、それ以上に自分自身の考える「図書館」とは不思議で懐の深い自由な場所に思われます。

日本の将来を心配して、研究している学者が調べものをする隣の席で、居眠りをしながらマンガを読んでいる人や、学生にテーマを与えてレポート提出を求めている先生の、隣でテーマを調べている学生や、西洋の美術作品を鑑賞している芸術家の隣で、日本の絵本を見ている子どもなど、地位や立場の違った人びとが、混在して

利用していたり、また何億年前の出来事や歴史から、未来の予想などを考える上での関連資料が一か所に集約されていて、開館時間内なら自由に出入りして、自分の好きな図書や興味のある図書を自由に読んだり、借りたりして人間形成に役立つような懐の深い場所が、図書館以外に他にあるでしょうか？

このような貴重場所での体験(仕事)をした自分は、「この不思議で懐の深い自由な場所」にこれからも通うことになりそうです。



たむら しんいち  
田村 伸一

元 大学図書館事務室マネージャー

## 2015年度 フェア 展示

図書館 1 階で開催したフェアを紹介します

## 花粉フェア



4月

春、花粉が舞う季節、花粉症の方には嫌な季節だったことでしょう。そんな方々のために、新年度一回目は花粉症に関する本を集めてみました。図書館スタッフが作成した、ちょっと笑えるポスターも目を引いていました。



2月に実施した学生選書ツアーで

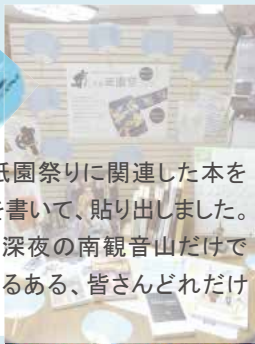


選んでいただいた本、86冊を並べました。本屋大賞の「鹿の王」や江戸川乱歩賞受賞の「間に香る嘘」など話題の本も含まれていました。校友の推薦する本ということもあり、たくさん利用がありました。

5月

## 学生選書フェア

## 祇園祭フェア



7月

①

祇園祭の始まりに合わせて行いました。祇園祭りに関連した本を置くだけでなく、うちわに「祇園祭あるある」を書いて、貼り出しました。「祇園祭の期間中はきゅうりを食べない」「深夜の南観音山だけで行われる儀式」など、祇園祭に related あるある、皆さんどれだけ知ってますか？

過去4年間に図書館のカウンターだよりに掲載されたおすすめ本や、その他、図書館スタッフが今すすめたい本を展示しました。おすすめコメントを帯にして本に巻いたり、今までのコメントをまとめて冊子にしたりしました。



7月

②

図書館スタッフからの  
おすすめ本フェア

## 災害対策フェア



10月

「備えあれば憂いなし」災害対策について考える機会になればと、様々な視点から、災害対策に関する本を準備しました。配布用の右京区の防災マップを設置したり、新聞記事になっている防災関連の情報を掲示したりしました。



【光庵×図書館コラボ企画 第6弾】

今回のテーマは『はらぺこあおむし』。図書館では『はらぺこあおむし』の著者エリック・カールの本を展示しました。

しかけ絵本や英語の絵本など様々な種類の本があり、大きさのある本も多く、いつも使っているテーブルだけでは載せきれず、広いテーブルにも並べました。ディスプレイは、あおむしと一緒に本を読み食べながら進んでいく、というコンセプトに。最後には皆、どんな蝶になったのでしょうか？

11月

はらぺこあおむしと  
めぐる本の旅フェアお菓子のせかい  
フェア

6月

【光庵×図書館コラボ企画 第5弾】

光庵スタッフが絵本や児童書の題材からメニューを開発するコラボ企画。今回のテーマの本は、『わかったさんのプリン』。図書館ではおかし作りが趣味の「わかったさん」シリーズをはじめ、お菓子のレシピ本やおかしがテーマの本を揃えました。「おかし屋さん」みたいな楽しいディスプレイになりました♪



丸善が集計している「全国の大学生がいま一番読んでいる本」ランキングをもとに、当館に所蔵している本を紹介しました。

8月

全国の大学生が  
いま一番読んで  
いる本は？フェア

## 災害対策フェア



10月

「備えあれば憂いなし」災害対策について考える機会になればと、様々な視点から、災害対策に関する本を準備しました。配布用の右京区の防災マップを設置したり、新聞記事になっている防災関連の情報を掲示したりしました。



【光庵×図書館コラボ企画 第6弾】

今回のテーマは『はらぺこあおむし』。図書館では『はらぺこあおむし』の著者エリック・カールの本を展示しました。

しかけ絵本や英語の絵本など様々な種類の本があり、大きさのある本も多く、いつも使っているテーブルだけでは載せきれず、広いテーブルにも並べました。ディスプレイは、あおむしと一緒に本を読み食べながら進んでいく、というコンセプトに。最後には皆、どんな蝶になったのでしょうか？

11月

はらぺこあおむしと  
めぐる本の旅フェア福、HAPPY カムカム  
本フェア2016年  
1月

新年最初のフェアは読むと幸運が訪れそうな本を選びました。本を通して皆が、今年一年を幸せに過ごせるように…そんな願いを込めました！





# 2015 図 書 館 B O O K & D V D 出 展 ラ ン キ ン グ

みんなは何を読んでる？何を見てる？ 昨年度のランキングを発表します!!

## No.1

写真でわかる  
小児看護技術  
：小児看護に必要な  
臨床技術を中心に  
山元恵子監修



インターメディカ 2006 年刊  
N440/SHAS  
図書館 2 階看護コーナー

## BOOK



2	妖怪アパートの幽雅な日常 1	文庫 1 階学生選書 コーナー
2	万能鑑定士 Q の事件簿 1	文庫 1 階学生選書 コーナー
4	妖怪アパートの幽雅な日常 2	文庫 1 階学生選書 コーナー
4	怪盗探偵山猫	文庫 1 階学生選書 コーナー
4	人間の内面を探る「自己・ 個人内過程」	140.7/SHIN/1 2 階閲覧室
7	ビブリア古書堂事件手帖 菜子さんと奇妙な客人たち	文庫 1 階学生選書 コーナー
7	ラブコメ今昔	913.6/AHi 3 階閲覧室
7	からだのしくみ事典	491.3/KARA 2 階閲覧室

## DVD



1	僕等がいた 前篇
2	告白
3	モテキ
4	塔の上のラプンツェル
4	美女と野獣
4	リトル・マーメイド
7	悪の教典
7	眠れる森の美女
7	陽だまりの彼女
7	図書館戦争
7	モンスターズ・ユニバーシティ

## 図 書 館 ツ ア ー を 活 用 し よ う ！ ！

図書館で行われるツアーは大きく分けて**2種類**あります

### 図書館ツアー

ゼミなどの授業内で実施

内容：1～2年（基礎）

PCを使った情報検索や、館内案内、  
図書館の使い方 など

3～4年（論文検索）

主に卒業論文を作成するために必要な  
データベースの使い方

### 個別ツアー

6月・10月に実施

内容：全学年

レポートや論文の作成に必要な情報  
検索の仕方や、図書館の利用方法など

※ツアー内容・時間はみなさんの要望にお応え  
します！



## 編集後記

図書館報「葛野の鐘」第23号をお届けします。ご寄稿いただいた皆様には心より御礼申し上げます。今回は図書館の1年をフェア展示で振り返ってみました。季節や企画に合わせていろいろな本を紹介してきましたが、これからも新しい本との出会いとなるようなフェアを企画していきます。皆様からのご意見もお待ちしております。

「表紙について」今回もライフデザイン学科の井川先生を通じて、学生さんの作品に飾っていただきました。イラストレーション＝ライフデザイン学科2年 米田 彩香さんです。春の明るい光のなか、読書を通して希望に向かって夢をふくらませている女子学生を描いています、とのコメントをいただきました。ありがとうございました!!

## 葛野の鐘 第23号

2016年4月発行

京都光華女子大学図書館

京都市右京区西京極葛野町 38

TEL (075)325-5399

E-mail: lib@mail.koka.ac.jp

HP: <http://www.koka.ac.jp/toshokan/>

<https://www.facebook.com/kyotokoka.toshokan>

